

「Power Point を活用し英単語を覚える」

澤田 あゆみ

Email: sawada@kobe-michael.ac.jp

神戸国際大学附属高等学校

◎Key Words 英語, Power Point, 英単語

1. はじめに

英語力を伸ばす為に大切なことは単語力である。しかし、「単語を覚える」＝「面倒、覚えられない」というマイナスイメージが強く、英語に対して苦手意識がある生徒はどのように覚えたらいいのかわからないという意見が多い。

単語の暗記方法は色々あるが、デジタルネイティブと呼ばれる今の高校生には視覚を重視しイラストを取り入れた暗記法に興味付けになると考える。そこで、英単語とその意味に沿ったイラストを入れ、次に日本語が出てくるというものを2012年夏ごろに作成した。またPower Pointを使う理由は、誰にでも簡単に扱えるからだ。

2. Power Pointを使った英単語教材

2.1 対象生徒と実践の時期

2012年2学期から、特別進学コースの2年生約25人の学生（現在3年）を対象に導入を開始。その後、個人学習のツールとして活用できるように、学校のポータルサイトにアップデートをして、生徒がいつでも自由にアクセスし、単語学習ができるようにとスライドの枚数を増やしている。

2.2 試験的導入の様子

生徒に毎時間授業の最初に繰り返し行ったところ、少しずつではあるが、単語を覚えられようになったという実感が得られ、生徒達の自信となった。またそれが、ゲーム感覚で楽しめている。現在、学校で使用しているポータルサイトにアップしていて、1回30スライドくらいの単語学習Power Pointが24ある。生徒は学校の行きかえりなど自分の時間を利用して常に携帯電話からゲーム感覚で単語を覚えることができるという期待ができる。

2.3 英語に関する意識調査

生徒が英語に対して何をどのように必要として

いるのかを知るため、2013年5月、3年生の特進コース33人の生徒を対象に、英語に関する意識調査を行った。質問は10個で結果は以下の通りである。このコースは難関大学への進学を目指す目的で進学をしてきたクラスである。英語では学力別に2クラスに分けられる。このクラスの学力的に下のクラスを、2012年、1年間受け持った。彼らの意識が大学進学に向くにつれて、学力も伸びていた。その大きなきっかけとなったのが単語を覚えるということだったように思う。

問1「英語は好きですか」はいと答えた生徒が9人、まあまあと答えた生徒が14人、いいえと答えた生徒が10人。そのうち、問2「英語は得意ですか」ではいと答えたのはわずか2人でいいえと答えたのは22人であった。このことから、英語はまあまあ好きだが、得意ではないと感じている生徒が多いことがわかる。

問3「英語で何を一番苦手と感じますか」に対して、文法、単語、会話、読解の項目の中で文法に苦手意識を持っている生徒が一番多く13人、次いで読解8人、単語7人、会話5人という結果になった。これは今までの経験から授業や試験で取り上げられる頻度が大きく影響しているように感じられる。

問4「文法を理解するために必要だと思うことはなんですか」という問いに対して圧倒的に多かった回答が、16人で『単語』。そのほかは少数で『暗記』『基礎力』などであった。質問を考える中で生徒が単語を必要と感じながらも暗記することに苦手意識を持っているであろうと予想していたので、それを確認するための質問も設けた。

問5「単語を覚えるために必要なことはなんだと思いますか」という質問に対して、『毎日の積み重ね』『気合い』などが多くの回答として見られた。生徒には毎日努力しなければならない事は

分かっているけれど、それを実現するためには気合いが必要であるということになるのかと思う。

問6の「会話をするために必要な事はなんですか」に対して、『聴解力』と答えた生徒がとても多かった。この結果を見て、生徒たちが英語教育に要求していることも見えてきているように思った。

問7では「読解の力をあげるために必要な事はなんですか」と聞いた結果、11人もの生徒が『単語力』であると回答した。

問8「英語を勉強する上であなたが一番大切だと思うことは何ですか」と聞いた結果、ここでも群を抜いて多かったのが『単語力』であった。

ここまでの結果として、生徒が英語を勉強する上で一番大切な事は毎日の積み重ねや気合いのいる単語学習であることを実感しているということであった。

問9「登下校時なにをしていますか」をいう問いで最も多かったのが『音楽を聴いている』『何もしていない』『ボーっとしている』であった。この時間をいかに活用するかと思ったのがこの取り組みの結果となった。

そして最後の問10では「英語はあなたにとって必要だと思いますか」という問いに対して20人もの生徒が『必要だ』と答えた。

2.4 英語に関する意識調査の結果から

この結果、生徒が英語を学習する上で単語力が重要だと思っていることがわかった。また、登下校中の時間が活用できそうだった。

3. パワーポイントを活用した英単語学習法

パワーポイントを使用した単語フラッシュカードを作成しようと思ったきっかけは、英語力を伸ばす為に大切なことは単語力だという自論と生徒が必要だと思っている時事から取り組もうと思った。単語の暗記方法は色々あるが、デジタルネイティブと呼ばれる今の高校生には視覚を重視しイラストを取り入れた暗記方が興味付けになると考える。そこで、英単語とその意味に沿ったイラストを入れ、次に日本語が出てくるというものを、PowerPointを利用して作成した。Power Pointを使う理由は、誰にでも簡単に扱えるからだ。また、学生自身が自らの新しく覚えた単語を加え

ていくことも出来るので、教師から提供されるものという意識ではなく、自分たちで協力しながら作り、積み上げていく教材という意識が生まれる。

4. 活用による効果

本校の学生に毎時間Power Pointの単語学習を、授業の最初に繰り返し行ったところ、少しずつではあるが、単語が覚えられようになったと生徒達の自信となり、ゲーム感覚で楽しめていた。

現在、アクセスの制限はあるものの、学校共有ポータルサイトにあげており、学生は学校の行き帰りなど自分の時間を利用して常に携帯電話からゲーム感覚で単語を覚えることができるようになっている。

5. 今後の課題

現在、i-phoneからのアクセスになんだかの問題があるらしく、ポータルサイトを活用しきれていないが、それ以外の端末からは問題なく利用できている。

今後はさらに上手く活用できるよう、学生に使い方と活用の方法を説明し、広げ、そして自分たちでどんどん単語を増やしていけるようにしていきたい。また、視覚で覚えるだけでは本当の発音などが分からないままなので、コミュニケーション能力の向上にはつながらないので、今後は音声を追加し、視覚、聴覚の両方から単語学習が、いつでも、どこでも、学生が勉強したい時に取り組めるという環境と教材作成に発展させていきたい。